



環境に優しい古紙のリサイクルを学ぶ

松前町子ども環境学園 2024「SDGs 探検隊」

松前町子ども環境学園 2024「SDGs 探検隊」は7月27日、松山市の古紙リサイクル工場（株）カネシロで行われ、学園生 23 人が参加しました。

学園生は、古紙のリサイクルについて学んだ後、分別・回収された古紙がリサイクルされていく工程を見学。その後、古紙でオリジナルのはがきを作る「紙すき体験」を行い、リサイクル



④古紙が圧縮される様子を見学
⑤紙すき体験



無病息災を願って 虫干祭

「虫干祭」は8月2日、高忍日賣神社で行われました。「虫干祭」とは、茅の輪をくぐって半年の罪やけがれを除き、残り半年を無事に過ごせるよう神様に祈る高忍日賣神社の年中行事。

祭りでは、立川神楽保存会による立川神楽（内子町指定無形民俗文化財）の奉納や、地域住民による日本舞踊の披露のほか、愛媛プロレスによるリングイベントなども行われ、多くの人でにぎわいました。



④大迫力の立川神楽
⑤次々に茅の輪をくぐる



川の中に住む生き物を探せ！

恵久美地区「水生生物探検」

恵久美を元気にする会（小林祐介代表）は8月18日、神寄川で「水生生物探検」を行い、子どもから大人まで約20人が参加しました。

参加者は、川に入って、夢中でメダカやモクズガニなどを捕獲。その後、捕った生き物の名前の由来や生態について、愛媛大学名誉教授家山博史さんから説明を受けました。

参加した岡田小学校4年生の合田橙真さんは、「捕ったメダカは家で大切に育てたい」と目を輝かせていました。



子ども議員が町の未来を考える

令和6年松前町子ども議会

「令和6年松前町子ども議会」は8月9日、役場の議場で行われ、町内の小中学生10人が子ども議員として町政に対する意見を述べました。

町議会議員の指導の下、事前に一般質問を考えて議会に臨んだ子ども議員たち。「公園に新しい遊具がほしい」「通学路に防犯カメラを設置してはどうか」など、それぞれが質問や提案を行い、それに対して、田中町長や足立教育長が答弁を行いました。詳しくは、11月1日発行の「議会だより」でお知らせします。



町内各地で「ひまわり祭り」開催

中川原・徳丸地区「ひまわり祭り」

「ひまわり祭り」は、中川原地区と徳丸地区で行われ、たくさんの方が、咲き誇ったひまわりを見ながら催し物を楽しみました。

中川原地区は7月28日、ひよこたん池公園周辺で開催。恒例の写生大会に参加した子どもたちは、絵の具などを使って、思い思いにひまわりを描いていました。地域住民による演奏大会やかき氷、たこ焼きなどの出店も大盛況でした。

徳丸地区では、徳丸ひまわり会が8月11日、高忍日賣神社近くのひまわり畑で開催。ひまわりに付けられている白の札とお菓子が交換できる宝探しに参加した子どもたちは、ひまわり畑を走り回って楽しみました。大人向けにはビアガーデンが行われ、来場者は楽しい夏のひとときを過ごしていました。

今後は、ひまわりの種を収穫した後、搾油し、給食用の油などに利用する予定です。



④画用紙いっぱいひまわりを描く（中川原）
⑤「あった！」宝探しに夢中（徳丸）
⑥太陽の下で、元気いっぱい咲くひまわり（徳丸）



心を込めて美しい歌声を披露

第62回愛媛県少年少女合唱連盟演奏会西条大会

「第62回愛媛県少年少女合唱連盟演奏会西条大会」は8月11日、西条市丹原文化会館で行われ、本町から松前ひまわり少年少女合唱団が出演しました。

団員8人は、心を込めて、「火の山の子守歌」と「にじ」の2曲を披露。日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

ひまわり少年少女合唱団は、随時団員を募集しています。興味のある人は、社会教育課生涯学習係（☎985-4135）までご連絡ください。



松前の海を SUP で満喫

SUP 体験会

「SUP 体験会」は8月7日、北黒田海岸で、松前町青少年育成協議会とhome grow MATERIALS（刈田充広代表取締役）の共催で開催されました。

「SUP」とは、スタンドアップパドルボードの略称で、専用のボードに乗り、パドルで漕いで水面を進むスポーツのこと。初めてSUPに挑戦した北伊予小学校6年生の右川奈那美さんは、「波で揺れてバランスをとるのが難しかったけれど、ボードに立てて楽しかった」とほほ笑んでいました。



町の魅力を発信

まさきオフィシャルサポーター委嘱式

「令和6年度まさきオフィシャルサポーター委嘱式」は7月22日、役場で行われ、本年度から新たにフリーアナウンサーの中山明音さんを委嘱しました。

まさきオフィシャルサポーターは、松前町の魅力を発信し、町の知名度向上やイメージアップを図ることを目的として町が設置しています。

委嘱式で、田中町長は中山さんに委嘱状と、北川原にある砥部焼の窯元「和将窯」が制作した皿を贈呈。中山さんは、「テレビやSNSなどを通して、松前町の魅力を積極的に発信していきたい」と意気込んでいました。

令和4年7月からサポーターを務める片岡礼子さん、久保田大希さん、河内裕里さん、中岡良一さんの4人にも、引き続き委嘱しています。任期は2年です。



中山 明音さん

フリーアナウンサー。宮崎県出身。松前町在住。平成22年、テレビ愛媛にアナウンサーとして入社。「ふるさと絶賛バラエティ いーよ!」「EBC スーパーニュース」などの人気番組を担当。現在は、テレビ番組のリポーターや、イベントのMCなどで活躍中。



片岡 礼子さん

俳優。岡田小・中学校、伊予高等学校を卒業し、大学進学で東京へ。力強い演技を売りに映画を中心に活動中。主な出演作は、ドラマ「あなたの番です」、映画「空白」など。



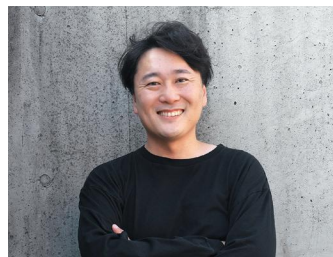
久保田 大希さん

エンターテイナー。岡田小・中学校を卒業し、高校卒業後、大学進学で県外へ。令和3年4月にUターン。Instagramのフォロワーは3万人超え。県内の飲食店などを紹介する動画を毎日投稿中。



河内 裕里さん

インフルエンサー。松前小・中学校、伊予高等学校を卒業。はんがり競漕の女子世界記録保持者。現在は、YouTuber シコクパンクとして活動しながら、モデルや俳優業にも挑戦中。



中岡 良一さん

タレント。岡田小・中学校、伊予高等学校卒業。平成16年、ジャパハリネットのドラムとして「哀愁交差点」でメジャーデビュー。テレビ愛媛「ふるさと絶賛バラエティ いーよ!」など、テレビやラジオに出演中。